

▼ペグインターロン皮下注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ペグインターフェロン α -2b peginterferon alfa-2b (genetical recombination) 【分類】 C型慢性肝炎治療薬 [インターフェロン製剤]

【単位】 ▼50 μ g・▼100 μ g・▼150 μ g/V

【常用量】 ■C型慢性肝炎：1回1.5 μ g/kgを週1回 ■C型代償性肝硬変：1回1.0 μ g/kgを週1回 [いずれもリバビリンと併用]

【用法】 皮下注

【透析患者への投与方法】 併用するリバビリンが禁忌 (1) 【その他の報告】 1 μ g/kg/週 [200mg/日のリバビリンと併用] (17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 Cr 50mL/min 以下：血中濃度が上昇することがあるため慎重投与 (1) 腎機能低下により AUC が増大 (1)

【特徴】

【主な副作用・毒性】 間質性肺炎，うつ病，血球減少，意識障害，失神，糖尿病の増悪又は発症，腎障害，心不全，不整脈，消化管出血，発熱，倦怠感，頭痛，不眠，気分不良，消化器症状，皮膚症状など多数。

【F】 50% [sc] (1)

【tmax】 22～37hr (1)

【代謝】 分解により代謝 (1)

【排泄】 分解されて尿中に排泄 (1) 【CL】 21mL/hr/kg [sc] (1)

【t1/2】 30～40hr (1) 腎機能低下により延長 (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 0.93～1.83L/kg (1)

【MW】 PEG 化された高分子

【透析性】 除去されない (1)

【TDM のポイント】 2-5AS 活性で評価することが可能かも知れない (金 啓二: Bull Osaka Univ Pharmaceut Sci 2: 111-8, 2008)

【相互作用】 CYP1A2, 2D6 を阻害する (1)

【更新日】 20160413

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。